

令和6年度 「豊川用水上下流交流事業」を実施しました



大島ダム

8月1日は「水の日」で、8月1日から8月7日は「水の週間」です。当土地改良区では、毎年、この時期にあわせて、(公財)愛知・豊川用水振興協会と共催で、(独)水資源機構や東三河水道事務所のご協力のもと、上下流交流事業を実施しています。

この事業は、豊川用水の水源地や上流域、下流地域の児童及び保護者、教員の方々を対象に、普段生活している場所とは違う施設等を見学してもらい、農業における水の有効利用について学習することを目的としています。第8回目となる今年は、令和6年8月2日(金)に実施し、下流地域にある豊橋市立下条小学校の児童等15名を、新城市の大島ダム・大野頭首工などを見学し、豊川用水について学んでいただきました。

◆ 当日の行程

大島ダム

豊川用水の学習
監査廊・小水力発電施設の見学

(寒狭川頭首工を車窓見学)

寒狭川広見ヤナ

アユのつかみどり・川遊び
&昼食

大野頭首工

施設の学習
魚道の見学



第48回
8/1は水の日 
8/1~7は水の週間

大島ダム

豊川用水の概要を学習 & 監査廊・小水力発電施設を見学



寒狭川広見ヤナ

アユのつかみどり・川遊び & 昼食



大野頭首工 施設の学習&魚道の見学



この事業を通して、下流で使われている水が、上流でどのように貯えられているかを知っていただく良い機会になったのではないかと思います。



大野頭首工